

現況検査により認められる状況の記録

令和5年2月8日	
NO	61
場所	CY4通り
部位	人通口
各人通口部の開口補強の確認状況。	



令和5年2月8日	
NO	62
場所	CY4通り
部位	人通口
人通口（開口部）上下部のせん断補強筋は、計画通りD13@100mmとなっていることを確認。	



令和5年2月8日	
NO	63
場所	CY4通り
部位	人通口
人通口（開口部）上下部には、計画通り横補強筋2-D13（φ1400以上）が設置されていることを確認。	



現況検査により認められる状況の記録

令和5年2月8日	
NO	64
場所	CY4通り
部位	人通口
人通口（開口部）左右部には、計画通り縦補強筋2/2-D13が設置されていることを確認。	
	



令和5年2月8日	
NO	65
場所	CY4通り
部位	人通口
人通口（開口部）廻りには、計画通り斜め補強筋4/2-D13が設置されていることを確認。	
	



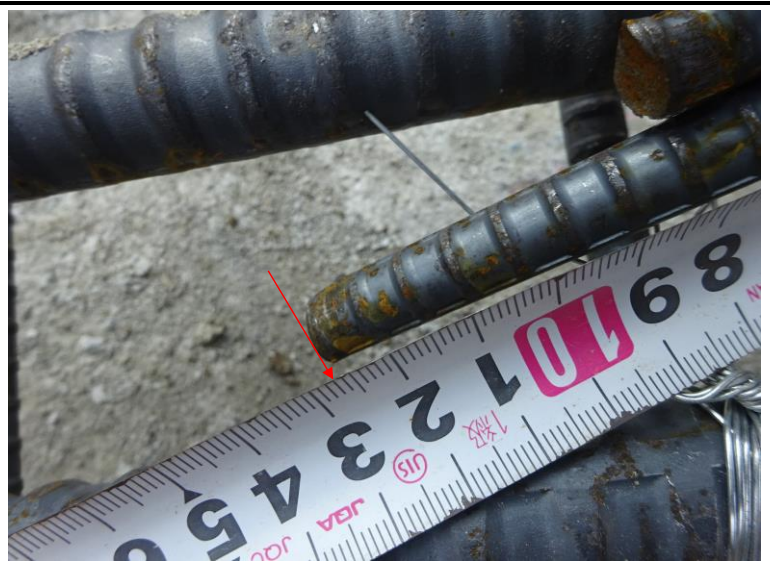
令和5年2月8日	
NO	66
場所	CY4通り
部位	端部曲げ補強筋
端部曲げ補強筋の確認状況。	
	



現況検査により認められる状況の記録

令和5年2月8日	
NO	67
場所	CY4通り
部位	端部曲げ補強筋

端部・交差部曲げ補強筋の折り返し定着長さ（150mm以上）が全般的に不足していることを指摘。

令和5年2月8日	
NO	68
場所	CY4通り
部位	端部曲げ補強筋

同上。設置前の端部・交差部曲げ補強筋についても同様の状態である為、共通した問題であることを指摘。




令和5年2月9日	
NO	69
場所	CY4通り
部位	端部曲げ補強筋

上記指摘に対して、その場にて是正が行われたことを確認済。




現況検査により認められる状況の記録

令和5年2月9日	
NO	70
場所	C X 3 通り
部位	端部・交差部曲げ補強筋
同上。既に設置されていた端部・交差部曲げ補強筋は、全ての箇所において再設置が行われ改善されたことを確認済。	
	



令和5年2月8日	
NO	71
場所	C Y 6 通り
部位	壁立上がり筋
先行設置されている壁立上がり筋 (D10) の設置状況を確認。	
	




令和5年2月8日	
NO	72
場所	C Y 6 通り
部位	壁立上がり筋
壁立上がり筋の呑み込み長さ (天端増し打ち分を除く) L2 : 350mm (D10×35) が確保されていることを確認。	
	




現況検査により認められる状況の記録

令和5年2月8日	
NO	73
場所	CY2 通り
部位	FG13A (基礎梁)
CY2 通り FG13A (基礎梁) の施工状況。	




令和5年2月8日	
NO	74
場所	CY2 通り
部位	FG13A (基礎梁)
FG13A の鉄筋組が計画通りであることを確認。(上端主筋：3/2-D25)	




令和5年2月8日	
NO	75
場所	CY2 通り
部位	FG13A (基礎梁)
FG13A の鉄筋組が計画通りであることを確認。(下端主筋：3/2-D25)	




現況検査により認められる状況の記録

令和5年2月8日	
NO	76
場所	CY2通り
部位	FG13A (基礎梁)
FG13Aの鉄筋組が計画通りであることを確認。(せん断補強筋：D13@100)	



令和5年2月8日	
NO	77
場所	CY2通り
部位	FG13A (基礎梁)
フーチング部のベース筋 (D13@200mm) ・配力筋 (2-D13) が計画通りであることを確認。	



令和5年2月8日	
NO	78
場所	CY2通り
部位	FG13A (基礎梁)
ベース筋下部には、鉄筋かぶり厚さ (60mm以上) が適切に確保できるようにサイコロ (スペーサー) が設置されていることを確認。	



現況検査により認められる状況の記録

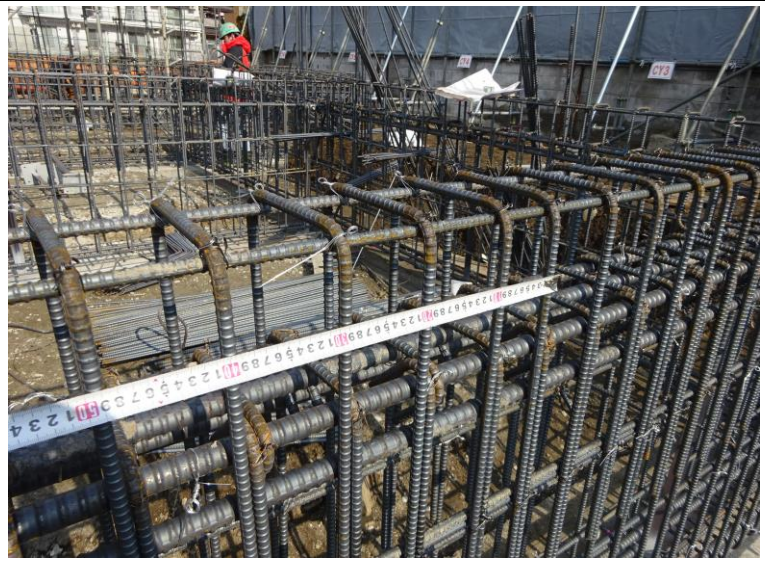
令和5年2月8日	
NO	79
場所	CY2通り
部位	FG13A (基礎梁)
FG13A (基礎梁) ~ FG1 (地中梁) への接続部では、主筋が必要定着長さ: L2 (D25×35=875mm以上) を確保していることを確認。	




令和5年2月8日	
NO	80
場所	CY2通り
部位	FG13A (基礎梁)
FG13A (基礎梁) ~ FG1 (地中梁) への接続部では、主筋が必要定着長さ: L2 (D25×35=875mm以上) を確保していることを確認。	




令和5年2月8日	
NO	81
場所	CY2通り
部位	FG13A (基礎梁)
FG13A (基礎梁) の梁天端補強筋 (せん断補強筋) は、本来@200mmで良いが、@100mmとなっている状況。安全側に多い為、特に問題はなし。	

現況検査により認められる状況の記録


令和5年2月8日	
NO	82
場所	DY 2.5 通り
部位	W1 2 (土留め壁)
DY 2.5 通り W1 2 (土留め壁) の施工状況。	




令和5年2月8日	
NO	83
場所	DY 2.5 通り
部位	W1 2 (土留め壁)
W1 2 の鉄筋組が計画通りであることを確認。(D10@200縦横共)	




令和5年2月8日	
NO	84
場所	DX 3 通り
部位	FG 1 0 (基礎梁)
DX 3 通り FG 1 0 (基礎梁) の施工状況。	




現況検査により認められる状況の記録

令和5年2月8日	
NO	85
場所	DX3通り
部位	FG10 (基礎梁)
基礎梁成+梁天端補強の出来形が計画通りであることを確認。基礎底盤下端～スラブ天端：1,350mm	




令和5年2月8日	
NO	86
場所	DX3通り
部位	FG10 (基礎梁)
FG10 (基礎梁) の鉄筋組が計画通りであることを確認。(上端主筋：2-D22、下端主筋：2-D22)	





令和5年2月8日	
NO	87
場所	DX3通り
部位	FG10 (基礎梁)
FG10 (基礎梁) の鉄筋組が計画通りであることを確認。(せん断補強筋：D13 @200mm)	




現況検査により認められる状況の記録

令和5年2月8日	
NO	88
場所	DX3通り
部位	FG10 (基礎梁)
せん断補強筋のフック折り曲げ部の余長が適切 (135° : D13×6=78mm以上) であることを確認。	




令和5年2月8日	
NO	89
場所	DX3通り
部位	FG10 (基礎梁)
FG10 (基礎梁) の鉄筋組が計画通りであることを確認。(腹筋 : 2-D13@300mm以下)	




令和5年2月8日	
NO	90
場所	DX3通り
部位	FG10 (基礎梁)
FG10 (基礎梁) の鉄筋組が計画通りであることを確認。(幅止め筋 : D10@1000mm)	